

## <定点把握感染症>

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

※◎:警報レベル

○:注意報レベル

疾患名	全国	山形県			村山地区			最上地区			置賜地区			庄内地区			累積(県)
	第49週	第49週	第50週	増減	第49週	第50週	増減	第49週	第50週	増減	第49週	第50週	増減	第49週	第50週	増減	
<b>インフルエンザ定点</b> (定点医療機関数)		(48)			(20)			(5)			(10)			(13)			
インフルエンザ	20127 4.06	95 1.98	122 2.54	▲	71 3.55	53 2.65	▽	3 0.60	1 0.20	▽	5 0.50	31 3.10	▲	16 1.23	37 2.85	▲	11775
<b>小児科定点</b> (定点医療機関数)		(30)			(13)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	2452 0.78	35 1.17	31 1.03	▽	19 1.46	17 1.31	▽	3 1.00	4 1.33	▲	12 2.00	9 1.50	▽	1 0.13	1 0.13		1812
咽頭結膜熱	2585 0.82	52 1.73	61 2.03	▲	30 ◎2.31	25 ◎1.92	▽	1 0.33	2 0.67	△	17 ◎2.83	27 ◎4.50	▲	4 0.50	7 0.88	△	1304
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9707 3.07	167 5.57	230 7.67	▲	76 5.85	117 ◎9.00	▲	17 5.67	23 7.67	▲	56 ◎9.33	60 ◎10.00	△	18 2.25	30 3.75	△	6979
感染性胃腸炎	24683 7.81	243 8.10	295 9.83	▲	148 11.38	161 12.38	▲	10 3.33	11 3.67	▲	66 11.00	97 16.17	△	19 2.38	26 3.25	▲	7255
水痘	1607 0.51	23 0.77	32 1.07	△	17 1.31	18 1.38	△		1 0.33	△	1 0.17	3 0.50	△	5 0.63	10 1.25	△	743
手足口病	2974 0.94	28 0.93	49 1.63	△	13 1.00	12 0.92	▽	3 1.00	6 2.00	△	12 ◎2.00	28 ◎4.67	△		3 0.38	△	3797
伝染性紅斑	268 0.08	5 0.17	4 0.13	▼							5 0.83	4 0.67	▼				690
突発性発しん	1344 0.43	10 0.33	15 0.50	△	3 0.23	1 0.08	▽	2 0.67	1 0.33	▽	3 0.50	6 1.00	△	2 0.25	7 0.88	△	916
百日咳	35 0.01																25
ヘルパンギーナ	362 0.11	2 0.07	1 0.03	▼	2 0.15	1 0.08	▼										1274
流行性耳下腺炎	930 0.29	6 0.20	1 0.03	▽							3 0.50	1 0.17	▽	3 0.38		▽	605
<b>眼科定点</b> (定点医療機関数)		(8)			(4)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	6 0.01																
流行性角結膜炎	593 0.85	9 1.13	8 1.00	▼	8 2.00	8 2.00					1 1.00		▽				218
<b>基幹定点</b> (定点医療機関数)		(10)			(4)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	12 0.03	2 0.20		▽	2 0.50		▽										86
クラミジア肺炎	3 0.01																
マイコプラズマ肺炎	178 0.37	11 1.10	14 1.40	▲	6 1.50	9 2.25	▲	3 3.00	1 1.00	▽				2 0.67	4 1.33	▲	262
細菌性髄膜炎	10 0.02																5
無菌性髄膜炎	9 0.02	1 0.10		▽										1 0.33		▽	9

## <全数把握感染症>

疾患名	類型	報告数				備考
		村山	最上	置賜	庄内	
結核	患者	2				
	無症状病原体保有者	1			1	
侵襲性肺炎球菌感染症	患者			1		肺炎球菌ワクチン接種歴:無し
アメーバ赤痢	患者		1			※第46週追加報告分。

## <通信欄>

※トピックスで、インフルエンザ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎について掲載しています。

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

< 定点把握感染症 報告患者数 年齢別 >

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
インフルエンザ			2	2	11	8	10	14	7	9	14	29		1	
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									合計
	5	1	4	1	1	3									122
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症	3	6	12	5	4			1							31
咽頭結膜熱		4	13	10	10	6	6	6	2	1	2	1			61
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1	11	14	17	32	29	19	23	20	24	32	2	6	230
感染性胃腸炎	1	13	48	35	32	26	27	16	17	15	15	39	4	7	295
水痘	2		1	3		2	7	5	2	1	4	3	2		32
手足口病		6	21	5	14	2		1							49
伝染性紅斑				1	3										4
突発性発しん		4	11												15
百日咳															
ヘルパンギーナ				1											1
流行性耳下腺炎												1			1

< 平成29年10月 月報 >

2017年11月22日 発行

疾患名	山形県		村山地区		最上地区		置賜地区		庄内地区		累積(県) 1～10月	
	9月	10月										
<b>STD定点</b> (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
性器クラミジア感染症	報告数	14	26	6	15	4	2	2	5	2	4	190
	定点当り	1.40	2.60	1.50	3.75	4.00	2.00	1.00	2.50	0.67	1.33	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	7	7	2	3		1	2	3	3		63
	定点当り	0.70	0.70	0.50	0.75		1.00	1.00	1.50	1.00		
尖圭コンジローマ	報告数	2	3	1	1					1	2	19
	定点当り	0.20	0.30	0.25	0.25					0.33	0.67	
淋菌感染症	報告数	1						1				31
	定点当り	0.10						0.50				
<b>基幹定点</b> (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	6	7				1	1		5	6	66
	定点当り	0.60	0.70				1.00	0.50		1.67	2.00	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	27	27	16	16	2	2	3	3	6	6	219
	定点当り	2.70	2.70	4.00	4.00	2.00	2.00	1.50	1.50	2.00	2.00	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数											2
	定点当り											

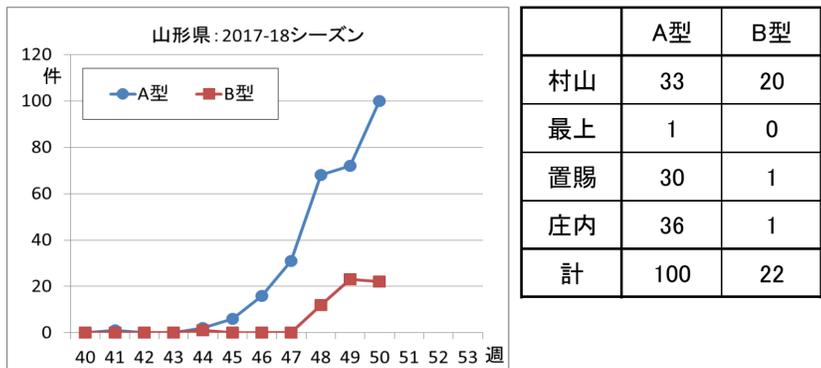
<トピックス>

【インフルエンザ情報】

第50週の県平均のインフルエンザの定点当たり報告数は2.54人であり、7週連続の増加となりました。

・インフルエンザ
警報開始基準値:30人 警報終息基準値:10人 注意報基準値:10人
・第50週 定点当たり報告数 (山形県:2.5人)
村山地区 2.7人 最上地区 0.2人 置賜地区 3.1人 庄内地区 2.9人

1 迅速診断キットによるインフルエンザウイルスの陽性件数(第50週)



2 集団発生情報(山形県健康福祉企画課まとめ 第50週)

村山地区:中学校 1件  
庄内地区:小学校 2件

3 インフルエンザウイルス分離状況 (衛生研究所 12月13日現在)

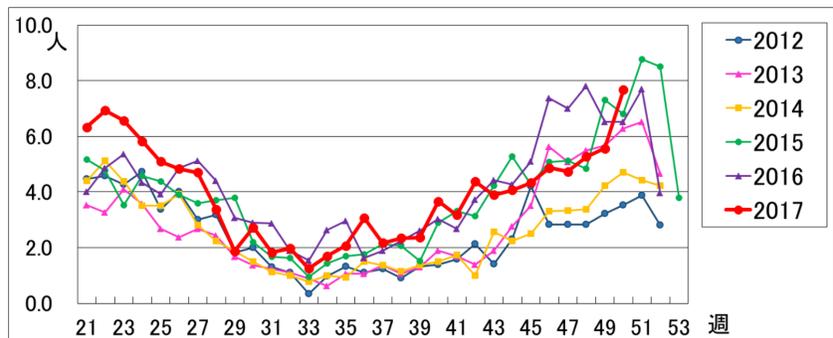
・2017-2018シーズン  
A香港型 7件 (11月)

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎情報】

A群溶血性レンサ球菌感染症の定点当たり報告数が、村山地区、置賜地区で警報レベルとなっています。

・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
警報開始基準値:8人 警報終息基準値:4人
・第50週 定点当たり報告数 (山形県:7.7人)
村山地区 9.0人 最上地区 7.7人 置賜地区 10.0人 庄内地区 3.8人

・定点当たり報告数の推移(山形県)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、A群溶血性レンサ球菌による上気道の感染症で、春～初夏と冬季に流行します。

【症状】2～5日の潜伏期の後、突然の発熱(38℃以上)、咽頭発赤、莓舌などの症状が現れます。通常、熱は3～5日以内に下がり、1週間以内に症状は改善します。治療は、抗菌剤が有効です。肺炎などの合併症を防ぐためにも、症状が改善しても医師に指示された期間、薬を飲むことが大切です。

【感染経路と予防法】患者の咳やくしゃみ等のしぶきに触れること等で感染しますので、一般的な予防対策(手洗いや咳エチケット等)が大切です。